

週刊 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

6月27日 No.1590

-----2022年(令和4年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税

(定価) 1部本体 495円+税

行所

ビジネス株式会社

Vitality Victory

東京都千代田区神田三崎町3-1-5

TEL 03-3488 FAX03(5214)6633

大阪市中央区南本町1-5-11

TEL 06-22406 FAX06(6262)2090

時総会が6月17日、東京都内で開かれた。3



永井良一会長

三輪陽通氏が新会長に就任

日本 R P F 工業会

第10回定時社員総会を開催

(一社)日本RPF工業会は6月16日、東京都内で第10回定時社員総会をリアル参加とオンラインによるハイブリッド形式で開催した。役員改選が行われ、新たに三輪陽通氏が新会長に就任した。前会長の長田和志氏は名誉会長に就任した。総会で長田名誉会長は、「(一)一般社団法人として設立されてから10周年を迎えた。その中で2016年に会長を引き継ぎ、3期6年間で務めてきた。今年4月にはプラスチック資源循環法が施行された。大事なのは、プラスチックの循環のサプライチェーンの輪に加わることだ。同じく4月には改正温対法が施行された。RPFも脱炭素やケミカルリサイクルになるものとして期待されている。今後はGXや青年部の取り組みに期待すること述べた。三輪新会長は、「外国人技能実習制度は(業界にとって)大きな成果だ。長田会長が取り組んできたことを踏襲しながら発展させていきたい。決意を述べた。総会では来賓として、同工業会の顧問を務める稲田朋美衆議院議員、経済産業省の吉村一元素材産業課長、環境省の神谷洋一廃棄物規制課長があいさつした。総会後の講演会では、環境省の神谷課長が改正温対法やRPFによる二酸化炭素削減

を結んだハイブリッド形式で開催された。任期満了に伴う役員改選が行われ、永井良一会長が再任となった。コロナ禍などの影響による収支改善が重要な議事となった。永井会長は、「収支改善策を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」の実現に向けてブックレットを作成した。22年度の事業の実施に当たっては、財政状況を鑑みて、3月8日に理事会が改善策を取



長田和志前会長(左)から三輪陽通新会長(右)へ

「岐阜第二工場」をフルHP 年3万tの木質チップ

フルハシEPO(名古屋市、山口直彦社長、052-324-9088)は5月31日、二工場(大阪)を始めた。約4億4000万円を受け、木材を受け入れ、廃パレットをリサイクルする。新役員は次のとおり(敬称略)。会長||三輪陽通。副会長||吉田潤。山本浩喬。専務理事||首藤聖司。常務理事||田墨啓治、加山順一郎。理事||片境邦喜、綾仁裕、見澤直人、小川貴広。監事||福井里司、大嶋武。名誉会長||長田和志。

福井循環協会

オピニオン 環境直言

第12回 月1連載

脱炭素やサーキュラーエコノミーの取り組みは世界的な潮流となり、環境対策は新たなステージに入った。私たちはどのような行動していくべきか。各界の識者がずばり直言する。(月1回連載)

俊秀

インシング

「と誤解し、望ましい水準を超えて二酸化炭素を排出し、さまざまな被害を起している。原因である二酸化炭素に価格を付けられ、排出量が抑制され、問題が解決される。二つ目の意義は、削減に伴う費用を最小化するからである。結果的に経済影響も発生する。一方、CPPであれば、企業も消費者もCPPの負担と排出削減のどちらが得か、知らず知らずのうちに考えるようになる。商品やサービスの価格に二酸化炭素の費用が反映されているからである。結果的に経済活動の目的(配当)を